



教育支援部ニュース



名古屋特別支援学校 教育支援部 発行 令和7年度 第3号 令和8年2月

巡回相談、発達障害児等支援・指導検討会報告

今年度は小学校 16 件、中学校 4 件の合計 20 件の巡回相談または支援・指導検討会を行いました。今回は、その活動の中で感じたこと、考えさせられたことをお伝えします。

感じたことの一つとして「転籍」があります。これは通常学級に在籍している児童生徒が特別支援学級に移ることをいいます。その逆も、転籍といえます。小中学校に入学するときにどちらかを選択するわけですが、学校生活が続ける中で「あっちのほうが合っているかも」とか「本当はあっちに行きたかった」などの気持ちが本人、保護者、教員の中に湧いてくる場合があります。そのようなときに「転籍したほうがよいでしょうか」と相談を受けることが今年度も何度かありました。

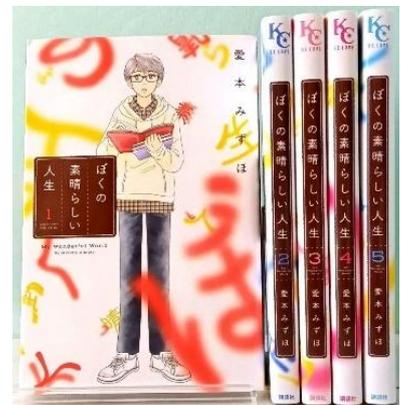
基本的には「その子の力が十分に発揮できる方」というのが回答です。「転籍先ではこんな学校生活を送ることができる」とか「こんな支援を受けることができる」などのプラス面だけでなく、マイナス面を挙げて話していくこととなります。しかし、それだけでは決められない思いがある場合がほとんどです。子ども自身が求める場所が適か不適か考える前に、子ども自身が求める場所で学校生活を送るためにはどうすればよいのかを考えることが必要であると思います。



書籍紹介

『ぼくの素晴らしい人生
全5巻』
愛本みずほ 著
講談社

生まれつき文字の読み書きが困難なディスレクシアを抱える青年の物語です。高校を中退、アルバイトをクビになり人生に絶望していた主人公がある喫茶店のマスターとの出会いをきっかけに自身の障害と向き合い、人生に光を見出していく様子が漫画で描かれています。



支援具紹介

『じかんかん
時感タイマー』



時間の経過とともにフィルムが回転して青色の部分が減っていくタイマーです。時間の経過が視覚的に実感できます。

一年間、教育支援部の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございました！